

2019年度 (公社)静岡県栄養士会定時総会 及び 講演会 報告

日時 令和元年6月1日(土) 10:30~16:30(受付10:00~)

会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ(6F)

★◎会長表彰

栄養指導業務功労者32名に対して静岡県栄養士会会長より会長表彰され、本多美恵子会員より受賞者代表の謝辞があった。

◎来賓挨拶

山野富美 静岡県健康増進課課長、

平井章 静岡県給食協会会長、

渡邊良子 静岡県健康づくり食生活推進協議会会長より謝辞を賜った。

中村丁次 日本栄養士会会長からの2019年度定時総会における日本栄養士会会長メッセージを披露。2020年の栄養サミット、2021年に国際栄養学会議、2022年にはアジア栄養士会議と日本で国際会議が予定されている。「栄養で世界を変える」を掲げ取り組んでいく。また、日本栄養士会で5つの重要課題を設定し、各種事業を計画的に取り組む為に、協力要請があった。



★講演1(11:20~11:50)

演題 「静岡県の健康課題の現状と取り組みー健康長寿の延伸に向けてー」

講師 静岡県健康増進課課長 山野 富美氏

静岡県の健康寿命が平成28年は男女計で全国6位、特に女性が13位に後退した現状報告があった。また本県で平成29年から取り組んでいる「しずおかまるごと健康経営」プロジェクトの中の「健幸アンバサダー」の養成、事業所や社内食堂等の取り組みを支援する活動が紹介された。地域の高齢者を多職種で連携して支えるための『食べる』からつながる食支援ガイドを作成、在宅高齢者の低栄養改善・予防の強化を行う。そして、受動喫煙防止条例の施行に伴い、静岡県は国より1年前倒しで全面施行した。飲食店における標識や条例啓発キャラクターが紹介され、健康寿命日本一の奪還!へ協力要請があった。



★講演2(13:00~14:30)

演題 『料理療法』の提唱ー調理による認知症予防の実践的研究ー」

講師 京都教育大学教育学部教授 湯川 夏子先生

産業医としてもご活躍の先生から、予防と臨床、両方の側面からのお話をいただいた。日本の企業で昔から取り込まれてきた「健康に関する自己管理能力」はヘルスリテラシーと言える。直接コストとなる医療費に加え、出勤しているが具合が悪く生産性が下がるプレゼンティーイズムなどは世界的にも問題とされている。安全と健康の両方にアクセスする健康経営が重要であると、様々な会社の取り組みを交えてご指導いただいた。



★議長選出・議事録署名人選出・書記指名・総会成立宣言・議事

「(公社)静岡県栄養士会定時総会」が執り行われた。総会員数1,454名のうち、出席者95名、書面による表決715名、合計810名の出席により過半数以上であることを確認し総会は成立した。神戸絹代議長の進行のもと、決議事項のすべての議案について承認された。



(公社) 静岡県栄養士会 会長 坪井 厚
副会長 新井 英一
副会長 木下 初代

